

タイトル	ロックスターになりたかった私
ポーランド語のタイトル	Kiedy chciałam zostać gwiazdą rocka
テーマ *	C
名前	クシュテルスカ・ナタリア
ポーランド語の名前	Natalia Kuszczalska
学校名 * 2	ヤギエロン大学
学年	3 年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

高校生の時、私はロックスターになりたかったんです。インターネットでパンクやメタルバンドのコンサートを見て、エレキギターをびゅるるると弾いたり、大舞台を夢中で飛び回ったりする、そのロックスターは「最高にカッコイイ！」と思っていました。

しかし、私はいつも舞台負けしていました。小学校の時、放課後はクラシック音楽の授業に通っていて、演奏の経験がいっぱいありました。それなのに、発表会の前にストレスのせいで、息が苦しくなったり、貧乏ゆすりをしたりして、「やばい、突然忘れたらどうするんだ、、、」と不安になりました。でも、最悪だったのは演奏の後で全く満足できなかったんです。やらかしたミスのことばかり考えていました。

こんなあがり症が出たのは自分の完璧主義のせいだと思います。クラシックの授業では音楽を楽しむということを学ばませんでした。大事なのは音符を暗記すること、正しい技術で弾くこと、先生の言う通りの音を出すことでした。つまり、パーフェクトに演奏するために細かく評価されていました。そういうプレッシャーを経験したために、大人になってからも人前での演奏は苦しすぎて、ロックスターになる夢を諦めてしまいました。

しかし、去年再び音楽に対するパッションを感じさせてくれることがありました。ある日、フェイスブックを見ていたら、スウィングの学校の広告が出てきました。

スウィングというジャズダンスは私が続けてきたクラシックの経験の真逆です。基本的なステップはありますが、要点は即興とリズムに夢中になることです。ルールもないし、評価されることもないし、ただダンスへの情熱を踊る人と一緒に共有するだけです。

ダンスのレッスンの最初は恥ずかしかったけど、時間がたつにつれて、少しずつ自信がついてきました。ミスは心配する代わりに、「やばい、これすごく楽しい！」と感じ始めました。今も人の前でパフォーマンスをする時、もちろんちょっとは緊張しますが、周りの人に自分の気持ちを伝えられるのは嬉しいです。勝たなくても大丈夫、ミスしても大丈夫だとわかってきました。

音楽の大切さと人間の真の価値は、有名で偉大なロックスターとかになることではありません。ロックスターのように眩しく、楽しく、自由を感じるからこそが大事なんだと思います。そしてそれはパフォーマンスだけでなく、もちろん人生でも。

Streszczenie (60-70 słów)

Od najmłodszych lat ważną rzeczą dla mnie była muzyka, a w liceum moim marzeniem było zostać gwiazdą rocka i grać w zespole, gdy dorosnę. Mierzyłam się jednak z wielką treścią sceniczną i perfekcjonizmem, który wyniosłam ze szkoły muzycznej. Udało mi się cieszyć się występami, dopiero gdy zaczęłam tańczyć swinga, który jest tańcem pozbawionym zasad. Dzięki niemu zmieniłam swój sposób myślenia i nabrałam pewności siebie.